

5月7日の基準価額の下落について

2020年5月7日に基準価額が前営業日比5%以上下落したファンドについてお知らせいたします。

【該当ファンド】

ファンド名	基準価額	前営業日比	前営業日比騰落率
パインブリッジ米国REITインカムファンド Bコース (愛称：バイリンガル)	6,995	-406	-5.49%
パインブリッジ・ワールド株式・オープン	5,275	-288	-5.18%

【市場動向】

	4月30日	5月6日	30日から6日の騰落率
MSCI米国REIT指数	997.51	940.10	-5.76%
S&P500種株価指数	2,912.43	2,848.42	-2.20%
ダウ工業株30種平均	24,345.72	23,664.64	-2.80%

	5月1日	5月7日	1日から7日の騰落率
日経平均株価	19,619.35	19,674.77	+0.28%
TOPIX(東証株価指数)	1,431.26	1,426.73	-0.32%
円/米ドル	107.28	106.27	-0.94%

<下落の背景について>

日本の連休期間中の海外市場は、株式やREIT等が下落しました。REITのセクター分類で見ますと、伝統的なREITであるオフィスや小売りといったセクターの下落が目立ちました。米国市場では、先月までの景気回復に対する期待先行のマーケットから、一旦冷静に感染者や景気回復に向けた動静を見極める局面に移ったことを反映している様に見受けられます。現在、米国では新型コロナウイルスの出口戦略に軸足を移しつつありますが、その一方で感染者数が収束していない段階での経済活動の段階的再開に対して、感染の第2波が懸念されています。トランプ大統領も経済再開の重要性を強調し、感染第2波のリスクに目を瞑る言及をしています。更に同大統領は今回の感染拡大の責任は中国にあり、その報復として関税を引き上げる可能性にも言及し、昨年同様、米中貿易摩擦に対する懸念も出てきています。

しかし米国では金融、財政両面での大規模な政策が経済と市場を下支えし、市場は落ち着きを取り戻してきています。またコロナ後の新しい社会スタイルを見据えてIT関連銘柄やテクノロジー・インフラREITは相対的に堅調に推移する等、銘柄の物色も二極化傾向が顕著になってきています。依然、慎重な運用が求められる局面ではありますので、引き続き細心の注意を払って参ります。

■当資料は、「5月7日の基準価額の下落」に関する参考情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第307号
加入協会／一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

重要な注意事項：投資信託に関する留意点

お客様が実際にご購入される個々のファンドに適用される費用やリスクとは内容が異なる場合がありますのでご注意ください。下記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、パインブリッジ・インベストメンツ株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収する個々の費用における最高の料率を記載しております。

投資信託に係るリスクや費用は、投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前に必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」や契約締結前交付書面をご覧ください、投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。

【お申込みに際しての留意事項】

●投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様の投資された金額を下回ることもあります。又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては「投資信託説明書（交付目論見書）」や契約締結前交付書面を必ずご覧下さい。

【ご投資いただくお客様には以下の費用をご負担いただきます】

●投資信託に係る費用について

申込時に直接ご負担いただく費用	購入時手数料（申込手数料） 上限3.85%（税抜3.5%）
換金時に直接ご負担いただく費用	信託財産留保額 上限 0.5%
投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用	運用管理費用（信託報酬） 上限年1.98%（税抜1.8%）
その他費用	上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。「投資信託説明書（交付目論見書）」、契約締結前交付書面等でご確認下さい。

■当資料は、「5月7日の基準価額の下落」に関する参考情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

